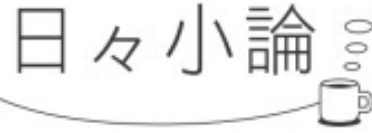


壮大で優美な運河

論説副委員長 松岡 健



昨秋、神戸市兵庫区にオープンした博物館施設「ひょうごはじまり館」を訪れた。古代からの港である①や兵庫津の歴史を知ることができる。

その一つが室町時代に足利義満が手がけた②との貿易だ。兵庫津は船の発着港となった。興味深かったのは、義満自らが②使の送迎をしていたとの解説だった。6年間に11回も京から兵庫へ足を運んでいたという。

展示を見て、国際日本文化研究センターと京都新聞が2月に開いた公開講座「日文研―京都アカデミック ブリッジ」のパネル討議「東シナ海が生んだ京文化」を思い出した。

登壇者は、日②貿易の木造船が全長30尺以上もあり、国家事業の遣唐使と違って商人が主だったなどと指摘した。韓国・高麗大の鄭淳一副教授は「瀬戸内海はある意味で『運河』。都まで物品を運ぶ上でその港は重

要だった」とし、朝鮮通信使が立ち寄った点にも触れた。

瀬戸内海は閉鎖性海域だが、壮大な水路として外に開かれてきたことだろう。兵庫津や播磨の室津には琉球やオランダの船も寄港し、交流した。

また瀬戸内海は世界に誇れる「風光明媚な運河」でもある。1868年、ドイツの地理学者リヒトホーフェンはどこにもない優美な景色とたたえ「将来この地方は、世界で最も魅力のある場所の一つとして高い評判をかち得、沢山の人々を引き寄せることであろう」と記した。

その予言は当たり、米紙ニューヨーク・タイムズは4年前、行くべき旅行先の7位に「瀬戸内の島々」を選んだ。

2年後には大阪湾で万博が開かれる。豊かな歴史を持ち、港と島が点在する瀬戸内海を、一つの文化圏として発信する絶好の機会になるのではないか。

次の記事の空欄①②を、指定の文字数で埋め、③の問いに答えましょう。

①後に兵庫津と呼ばれた現在の神戸港西の古代の港 漢字4文字

②当時の中国の国名 漢字1文字

③瀬戸内海が「運河」と言えるのはなぜでしょう。本文中から30字以内で抜き出し、「から」に続くよう最初と最後の3文字を書きましょう。

①

--	--	--	--

②

--

③

--	--	--

 ~

③

--	--	--

 から

NIEワークシート / 中学～高校